情報処理技能検定試験







Microsoft Excel 試験問題解答方法 2025 年 4 月



情報処理技能検定試験(表計算)についての注意事項や作成手順などを紹介します。ここで紹介する手順は、 Microsoft Excel2016を基に説明しています。

練習を始める前に

初段で使用する Excel の機能

初段は、すべての問題で複数のシートを使用してそれぞれ表やグラフを作成します。 Excel 画面下にある「Sheet1」がシートのタブになります。

- ・シートを増やす
- ・シートの名前を変更する
- シートの切り替え

などを行い解答を進めます。※操作の手順は解答方法を参照。



問題の構成

問題は、A3サイズの見開きとなります。試験開始前には下図のように折り畳まれ下図のように「説明文」 がある面が上になった状態で配布されます。試験実施まで開くことはできません。

	主催 日本情報地理檢定協会
	情報処理技能検定試験(表計算) 初段 問題
	pdapuşfil] 3 0 分
-	
1	1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
- i -	2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマ
1	をつけること。
	3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし
11	「 ―― 」部分は空白とする。
- i -	 表には罫線を引くこと。(罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。)
	5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
1.	6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞ
	れこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
- i -	(例 <出力形式1> [前期]・ [中期]・ [後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、
	それぞれ指示された表を作成する。)
1	7. 作成したデータは事前に準備したファイル(初段・受験番号・名前)に上書き保存する。
ļ	(例:初段101日検太郎)

■破線内の文章について 破線内の内容は、検定の基本的なルール(項目の配置 や表示形式の設定など)が記載されています。詳細は 18ページをご確認ください。 採点の対象となる項目もありますので、試験や練習す

採点の対象となる項目ものりますので、試験や練習す る前によく読んで解答してください。



本問題で使用する CSV ファイルの入っているフォルダーとファイル名([] で囲まれている文字がファイル 名)、またデータの一部内容、データの件数などが記載されています。<入力データ>は問題ごとに異なりま す。

■<商品テーブル>・<割引率テーブル>・<得意先テーブル> 本問題の処理条件の中で使用するテーブルや表が記載されています。これらのテーブルは、「テーブル」シート に入力します。使用するテーブルは問題ごとに異なります。

■<処理条件>

本問題で作成する表の形式である<出力形式>や、表を作成する際に設定する計算式などの処理が記載されて います。

<処理条件>の中に、どの出力形式で作成するかの指示があるので、指示に従い作成します。

最終的にこの形式の表を作成し、答案として提出します。

<処理条件>や作成する表の形式、数は問題によって異なります。

検定のポイント

初段と下位級の違い

- ・答案はデータのみ提出となります。印刷は必要ありません。
- CSV ファイルのデータをインポートして表を作成します。
- ・複数のシートに表を作成し、それらのシートを活用して<処理条件>にある内容で処理を し、表を完成させます。
- ・ <処理条件>のそれぞれの項番ごとに<出力形式>があり、指示に従って作成します。

試験前にすること

| ファイルの保存|

作成するファイルに名前を付けて保存します。ここではデスクトップにファイルを保存します。

(1)[ファイル]タブをクリックします。

											- 10	
77416 8-	5 R A											
93978-F 5	8 I U	∨ 1 • ⊞ • ∆ 2001	1 → A A • ▲ • 4 •	====	*> - ₹ == == = EM	9 43 9 6 9	5 1 2 2 8 1 2 2	泉田(18 7 田式 * 1	-JUELT 200 15122 - 2010 2910	 計算入。 <	∑ · A ▼ · Z ▼ · 2 → 3 → 3 → 3 → 5 → 5 → 5 → 5 → 5 → 5 → 5 → 5	
A1	• I ×	√ fx										*
A	в	C	D	E I		S F	() ()	1.1	К	LM	N	0
1	1											
2												
3												
4												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
3. 8	Sheet1	۲						1.0	_	## an ##		
準備充了									_	11 II U	-	+ 100%

(2)[名前を付けて保存]-[このPC]を選択して、任意の場所を選択します。



(3)ファイル名に「初段・受験番号・名前」を入力して[保存]をクリックします。



検定のポイント
 ・受験番号は試験日当日までに発表されます。 ・ファイルの保存場所は試験監督の指示に従っ
てください。

試験終了後このファイルに上書き保存をします。

操作のポイント

Excelのバージョンによっては、テキストインポートウィザードでインポートができない場合があります。 事前に下記の設定を行ってください。

■インポート事前設定

[ファイル]タブ-[オプション]-[データ]の[レガシデータインポートウィザードの表示]にある、[テキストから(レガシ)]にチェックを入れて[OK]をクリックします。



[データ]タブ-[データの取得と変換]グループ-[データの取得]-[従来のウィザード]から、[テキストから(レガシ)]を選択し、 インポートを進めます。

H										Boxe
				r 800	データ	校開			Q 1981	ますか
-90	□ テキストまた → Web から □ テーブルまた	Lia CSV f	PB 合置 B 合置 PB 合	ったソース 接続	すべて 更新・日	クエリと接続] プロパティ 」リンクの痛気	21 <u>22</u> 31 ²⁰ ~88	¥ 7411/9-	気 クリア 50 両途用 52 詳細設定	[[25
3	ファイルから(E	.)			<i>クΣ!</i>	と接続	3	にべ替えとフィル	9-	
-	データベースカ	^6(<u>₽</u>)	,							
2	Azure から()	۵)	ĸ	D	E	F	G	н	1	
2	オンライン サー	ビスから(E) ,							
4	その他のデータ	タソースか	6(<u>0</u>) ·							
d	従来のウィザー	- ۴(<u>W</u>)	÷	7	キストから(レ	ガシ)(工)				
-										

初段解答方法

CSVファイルを使用して表を作成する

初段では、あらかじめ用意されている CSV 形式のデータを使用して表を作成します。

<入力データ>(24件)

[仕え	ヘデータ	₹表]
商CO	仕入数	原価
11	146	1,720
12	130	2,130
21	143	1,560
22	121	2,400
31	104	1,930
:	:	:
22	92	2,220
31	128	1,690
32	81	2,120
41	123	1,220
42	79	2,450

H		- マ 仕入	データ表.csv	Excel
ファイ	レホーム	挿入 ページ	レイアウ 数式	データ 校閲
A1	*	: ×	$\checkmark f_x$	11
	А	В	С	D
1	11	146	1720	
2	12	130	2130	
3	21	143	1560	
4	22	121	2400	
5	31	104	1930	
20	22	92	2220	
21	31	128	1690	
22	32	81	2120	
23	41	123	1220	
24	42	79	<mark>2450</mark>	
4	×	仕入データ表	•	

Excel で開いた CSV ファイル 名前を付けて保存した Excel ファイル

יז	イルホー	-ム 挿入	ページ	> レイアウト	数式	データ 札
A2	25		×	√ f _x	42	
1	А	В	С	D	E	F
1	商CO	仕入数	原価	値引額	仕入額	
2	11	146	1720			
3	12	130	2130			
4	21	143	1560			
5	22	121	2400			
6	31	104	1930			
7	32	83	2180			
8	41	119	1390			
9	42	91	2340			
10	11	126	1860			

例. <入力データ> (テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式)を使用し、<出力形式1>のような表を作 成。

<出力形式1> [仕入データ表]

商	СО	仕入数	原価	値引額	仕入額
		(j	金中	省略)	
合	計				

(1)[データ]タブ-[外部データの取り込み]-[テキストファイル]を選択し、任意のファイルを選択して[インポー ト]ボタンをクリックします。

5.								
7-/11 -	±_/ /⊞1 &_∷L/	705 #17		デキスト ファイルのインボート				×
י עריינ	ホーム 挿入 ハークレイ.	P.71. 20.10	J-9 1	← → ~ ↑ 📕 > Pi	C > デスクトップ > SPS	5 v		
	/2 つエリの表示	唐 2 接線	E	整理 ▼ 新しいフォルダ・	=		800	• 🔳 🔞
	======================================		15-1	A 0/	名前	更新	日時	欄類
外部テータの)	新しい	রুব্ব 🗌		= = 770bar d	他 仕入データ表.csv	2020/	10/19 12:56	Microsoft Excel
取り込みで	クエリャ LO 最近使ったソース	更新・しいりン	7の編集	- 40vn-K *	第上データ表、csv	2020/	10/19 13:01	Microsoft Excel
	取得と変換	接続		1 F#2X2h #				
				≣ Ľ7∓+ ≉ Microsoft Excel	4			,
Access	Web テキスト その他の	既存の		79/	1.0 m. (1.3 × 5#			
データベース	クエリ ファイル データ ソース・	接続	E	771	MARINE TEXT TO BUSY		THAT THE DI	(.cki, .csv) *
	外部データの取り込み					7-14D -	12年-10	キャンセル
-								
2								

(2)[コンマやタブなど区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ]を選択し[次へ]、[区切り文字]は [コンマ]を選択し[次へ]、[完了]をクリックします。

テキストファイル ウィザード・1/3	?	×	テキストファイル ウィザード・2/3	?	×
■別、セテーサロビ的文字では当めれています。 (次) そりかりすめ、たちがナーから応見を建していたい、 スカラーからがす (○)コンマやクタな2050時の大学にとってノイート「「と)ここのホルトラーダ(D) ビノバーメルビット(自由にはこのにかいに直と見パートパッアーダ(E))			>イールドの区切り交中を備まして伏然に、「ケータのプレビュ」用ックスに担切り位置が表示されます。 区切り次す □「夕て」」 □「夕て」」 □ スケース() スケキ州の利用剤((2): 「 ・ 」		
取り込み制約行(B): 1 🔄 元のアイル(Q): 932:日本語 (シフト JIS)		~	□ €0/8(Q):		
□ 先課行をデータの見出しとして使用する(M) ファイル C:VUSersYttestVDesktopVSPSV仕入データ表.csv のプレビュー			データのプレビュー(<u>P</u>)		
(1) 11 (6) 1709 (1) 21 (10) 1709 (2) 21 (10) 1709 (2) 11 (6) 1509 (2) 21 (2) 21 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		-	11 146 5/26 12 10 218 21 14 168 22 17 2401 14 194 198		*
キャンセル < 戻る(8) 次へ(<u>N</u>) >	Ť	7(E)	キャンセル < 戻る(B) (次へ(M) >)	完了(E)

 G/標準(G) 文字列(I) 		[G/儒集] を選択すると、数字は数曲に、日付は日付形式の曲に、その他の曲は 変換されます。
○ 日付(D): YN	4D 🗸	I羊相(A)
○ 削除する(1)		
データのプレビュー(P)		
データのプレビュー(P) D/#20/#20/#20 11 146 1720 21 143 1580 22 121 2400	8	
データのプレビュー(P)		

(3) [既存のワークシート]に入力データを読み込む任意のセルの位置をセットし、[OK]をクリックします。 読み込み後、それぞれの列の見出しを問題文の<入力データ>を参照し入力、必要に応じ列を移動します。



(4)シートのタブの上で右クリックし、[名前の変更]を選択、問題文の出力形式の [] 内を参照しシート名を入力します。(今回は「仕入データ表])

	A	В	С	D	E	F
1	商CO	仕入数	原価	値引額	什入額	
2	11	146	17:	挿入(<u>I</u>)	Î
3	12	130	21	♥ 削除(□	2)	-
4	21	143	15	 名前の 	変更(<u>R</u>)	
5	22	121	24(移動ま	たはコピー(<u>M</u>).	
6	31	104	19	(j] ⊐−F0) ⊞ > ka	表示(⊻)	
7	32	83	218		2休護(ビ)…	
8	41	119	139	>=r9		
9	42	91	234	非 衣小	(日) 	Ĩ
10	11	126	18	+9-027/5	.(<u>U</u>)	
	$\leftarrow \rightarrow$	Shee	et1	9/(0	リシートを選択(<u>5)</u>

<処理条件>に従い、計算式などを設定します。

操作のポイント

CSV ファイルを直接開いて処理を進めても問題ありませんが、式やシートは CSV 形式のファイルでは 保存されません。保存時に Excel 形式で保存するようにしてください。

CSV ファイルを開いて数式の設定やシート追加などの処理をし、そのままの形式で保存したあと再度開くと式を入れた項目 は値になり、[テーブル]シートはなくなる。

	∃ ∿ ਾ ੇ	° ▼ =	(<u>#</u> 2	、データ表.csv	Excel	E	5-	¢	× ▼ =	(±	入データ表.csv	Excel
7	ሳብ ホーム	挿入	ページ レイアウ	ト 数式	データ 校園	רידר	イルホ	i-4	挿入	ページレイア	か 数式	データ 校園
E	2 *		$\checkmark f_x$	=C2*B2	-D2	E2		Ŧ	: ×	√ f _x	231030	
1	A	В	С	D	E		А		В	С	D	E
1	商CO	仕入数	原価	値引額	仕入額	1	商CO		仕入数	原価	値引額	仕入額
2	11	146	1720	20090	231030	2		11	146	1720	20090	231030
3	12	130	2130	16620	260280	3		12	130	2130	16620	260280
4	21	143	1560	17850	205230	4		21	143	1560	17850	205230
	< > [テーブル	仕入データ表	•		-) E		仕入データ	₹ ↔		

新しいシートを追加する

シートの横にある 🕀 プラス記号のアイコンをクリックしてシートを増やし、シート名を変更します。

יד	イルホー	-ム 挿2	x ~-	ジレイアウト	数式 デー	9
A1		•	× v	f _x ī	商CO	
1	А	В	С	D	E	
1	商CO	仕入数	原価	値引額	仕入額	
2	11	146	1,720	20,090	231,030	
3	12	130	2,130	16,620	260,280	
4	21	143	1,560	17,850	205,230	
5	22	121	2,400	17,430	272,970	
6	31	104	1,930	12,050	188,670	
	č >	テーブ)	レ 仕2	データ表	(+)	

25-170	мд	7.44C		2010	, ,	TXURU
A1	•	: ×	√ fx			
	A	В	C	D	E	F
1						
2						
3						
4						
5						
6				_		
4		テーブル	什入データ表	売 トデー	夕夷	(+)

ここからは初段で使用する関数や式の応用について解説します。

機能や式の応用

別のシートを参照する

別のシートにある表やテーブルを参照して処理を行います。

	A	В	С	D	Е	F	G	Н	1	J	В	3	¥ :	×	√ f _x	=VLOOK	UP(A3,テーブ	ル!\$A\$3:\$D\$	(10,2,0)
1	<商品テ	ーブル>				<割引	率テーブ	11>	<得意先う	テーブル>		-					1		
2	商CO	商品名	定価	期首在庫数		区分	割引率		得CO	得意先名		A		В	С	D	E	F	G
3	11	商品A	2,480	73		Х	9.1%		101Y	鈴村商事	1				商	品別	計算表		
4	12	商品B	2,610	69		Y	8.2%		102Z	ナカムラ	2	商CO	商品	品名	仕入数	売上数	期末在庫数	利益額	在庫見積額
5	21	商品C	1,930	46		Z	7.3%		103X	SP総業	3	11	商品A	N	378	404	47	285,568	81,500
6	22	商品D	3,160	53					104Y	山川商店	4	12	商品B	3	296	313	52	160,073	95,000
7	31	商品E	2,880	64							5	21	商品C		429	389	86	121,627	116,100
8	32	商品F	2,310	71							6	22	商品口)	286	288	51	201,713	112,800
9	41	商品G	2,230	53							7	31	商品E		387	382	69	377,682	139,100
10	42	商品H	3,040	62)						8	32	商品F		304	337	38	131,140	61,400
11											9	41	商品G	à	388	368	73	271,326	113,900
	< >	テーブル	レ仕ス	データ表 売」	ビデー	9表	計算表	+		-	10	42	商品H	ł	256	278	40	207,364	85,100
											11								
											12		合	計	2,724	2,759	456	1,756,493	804,900
											13								
												4 F	- -	ブル	仕入データ表	 売上デー 	9表 計算表	+	
																	_		
_	-\/I 0			o _		۲	1 1 4	۰ C Ó ۸	ቀቦቀ 1	0	0)								
-	-VLU	UNU		<u>),</u> 7		<u> ノ </u>	ト: か	Αφυ.	<u> </u> ^Δ	Ι υ, <u>ζ</u>,	<u>(</u>)								
% Г	テーフ	ブル!\$/	A\$3:5	\$D\$10」 (a	ţſ	テー	-ブル」	とい	う名前の	のシート	·のt	zル範[<u> </u> 「	A3 カ	ヽら D10	J			
*シ	ートタ	の後	に感	嘆符「!」	を	入ナ	」し、糸	売けて・	セル参	照の開始	位置	骨を指す	定す	るこ	とで他	のシー	۲ I		
					-							147	~ /						
12	あるせ	z ルを	参照:	できます	0														

<商品テーブル>は[テーブル]シートに作成されているので、[テーブル]シートを参照し表検索をします。

[範囲]は[テーブル]シートを選択し、範囲を設定します。(該当範囲を選択すると自動的に"テーブル!"が付加されます)

A	1	•	×	✓ <i>f</i> _x =	VLOOP	$KUP(A3, \overline{\tau} - \mathcal{I} H; A333; SDS10.2.0) \qquad \qquad$	
	A	В	С	D	E	F G H I J K L M N	
1	<商品:	テーブル	>		開表	Reconstruction of the second s	
2	商CO	商品名	定価	期首在庫数	VL	LOOKUP 1 商品別計算表	
3	11	商品A	2480	73			主方百
4	12	商品B	2610	69		前田 〒-ブルは643*50510 1 1 5月4*2490 72-12 78月8* 2 1 1 1 5月4*2490 72-12 78月8* 1 2 1 1 1 5月4*2490 72-12 78月8* 1 1 1 5月4*2490 72-12 78月8*	a ar
5	21	商品C	1930	46			
6	22	商品D	3160	53			
7	31	商品E	2880	64		R和力法 0 I FALSE I A C	
8	32	商品F	2310	71		= "āsā" 21	
9	41	商品G	2230	53	指定必要	またれる風かり、利用で特定の優を検索し、指定した別と同じ行にある極を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく 6 22	
10	42	商品H	3040	62		検索値 には範囲の / 振観列 / 検索 () はまっ () 本語 () に () ()	
11						たは文字列を指定します。	
12						8 32	
13	6				数式	式0.6展 務局A 9 41	
14					70		
15					20/		
	- F	テーフ	ว่าเ โ	土入データ表	売上デー	- 今表 11算表 ④ : (· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

- 部の文字だけが一致している文字列を検索する(ワイルドカード文字)

-部の文字だけが一致する文字列を検索するには、ワイルドカード文字を使用します。





商品名が「婦人服」で始まるデータを対象にする。

商品名に「婦人服」とつくものは「婦人服SS」「婦人服S」「婦人服M」「婦人服L」があり、この「婦人服」 ではじまる商品名のデータをすべて対象として集計する場合、条件の値に「*」(アスタリスク)を付けること で、対象の文字を含むものを対象とすることができます。



※「*」は、半角で入力してください。

※「*」は0文字以上の任意の文字列を表します。

ワイルドカードの使用例

商品	「商品」を含む文字列
	A 商品、商品 A、A 商品123
商品*	「商品」で始まる文字列
	商品A
*商品	「商品」で終わる文字列
	A商品

フィルターオプション

「オートフィルターオプション」では、複数の異なる項目で条件を設定する場合AND条件でしか設定できません。

Α В С D Е F 商品名 得CO 得意先名 商CO 数量 金額 1 2 101 商品 A 10.000 1001 ナカジマ 20 3 40 40,000 1001 ナカジマ 102 商品 B 30 45,000 1001 ナカジマ 103 商品 C 4 5 1002 A T K A 101 商品 A 20 10,000 6 1002 A T K A 102 商品 B 30 30,000 7 1002 A T K A 103 商品 C 10 15,000 8 1003 精華商店 101 商品 A 30 15,000 9 1003 精華商店 102 商品 B 10 10,000 10 1003 精華商店 103 商品 C 20 30,000 テーブル 売上データ表 (+)

オートフィルター オプション			?	×	オートフィルター オプショ	ン		-	?	×
抽出条件の指定: 数量					抽出条件の指定: 金額					
10			🖌 🕅	~	40000			~	以上	~
AND(<u>A</u>) OR(<u>O</u>)					AND(<u>A</u>)	○ OR(<u>0</u>)				
			~	~				~		~
2 を使って、任意の 1 文字を表すことができます。 * を使って、任意の文字列を表すことができます。			OK 4	FPJZIL	?を使って、任意の1 *を使って、任意の文	文字を表すことができま 字列を表すことができま	.व. व.	ОК] +1)	>t/1
		А	В	С	D	E	F			
	1	得CΟ▼	得意先~	商CO→	商品名▼	数量,	金額 🗊			
	11									
	12									

複数の項目でOR条件による抽出を行う場合は「フィルターオプション」を使用します。

例) 数量 10 以下または金額 40,000 以上を抽出する場合

1	А	В	С	D	E	F
1	得CO	得意先名	商CO	商品名	数量	金額
2	1001	ナカジマ	101	商品A	20	10,000
3	1001	ナカジマ	102	商品B	40	40,000
4	1001	ナカジマ	103	商品C	30	45,000
5	1002	ATKA	101	商品A	20	10,000
6	1002	ATKA	102	商品B	30	30,000
7	1002	ATKA	103	商品C	10	15,000
8	1003	精華商店	101	商品A	30	15,000
9	1003	精華商店	102	商品B	10	10,000
10	1003	精華商店	103	商品C	20	30,000
	() ()	テーブル	売上データ表	+		

(1) 数量「10以下」と金額「40,000以上」を抽出条件として別に入力します。



(2)[データ]タブ-[並べ替えとフィルター]グループの[詳細設定]をクリックします。 [抽出先]に[指定した範囲]を選択し、[リスト範囲][検索条件範囲][抽出範囲]を設定します。

יידר	イルホーム	、 挿入	ページレイア	ウト 数式	データ	校問表法	ネーヘルプ	♀ 何	をしますか					
	Access データ Web クエリ テキスト ファイル 外音	ベース その データ 『データの取り辺	他の ガース 接 込み	た 新しい クエリ・	□ クエリの表 □ テーブルか □ 最近使った 取得と変換	示 「「「 らす モソース 更	● 図接線 - 2 回 元 べて 回 元 新・ Q いい 接続	た パティ クの編集	2↓ <u>Z A</u> Z↓ 並べ替え フ· 並べ替え	(1149- (1149-	^四 ア <u>퇴適用</u> 洋細設定	▲ 区切り位置 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		
A1	-	: ×	$\checkmark f_X$	得CO										
	A	В	С	D	E	F	G	н	1	J	K	L		
1	得CO	得意先名	商CO	商品名	数量	金額	1							
2	1001	ナカジマ	101	商品A	20	10,000		数量	金額		↑	フィルターオプショ	ンの設定 ?	×
3	1001	ナカジマ	102	商品B	40	40,000		<=10				抽出先		
4	1001	ナカジマ	103	商品C	30	45,000			>=40000			○ 選択範囲 P	9(E)	
5	1002	ATKA	101	商品A	20	10,000			A			◎指定した範	囲(<u>O</u>)	
6	1002	ATKA	102	商品B	30	30,000						リスト範囲(上):	\$A\$1:\$F\$10	Î
7	1002	ATKA	103	商品C	10	15,000	i					検索条件範囲()	_): '表!\$H\$2:\$I\$4	Î
8	1003	精華商店	101	商品A	30	15,000						抽出範囲(工):	売上データ表!\$K\$1	Î
9	1003	椿華商店	102	商品B	10	10,000								
10	1003	精華商店	103	商品C	20	30,000						山重視するレコ	- Mは無視9る(<u>R</u>)	
11													OK ‡ヤンt	ZJL
12														

	A	В	С	D	E	F	G	н		K	L	М	N	0	Ρ
1	得CO	得意先名	商CO	商品名	数量	金額				得CO	得意先名	商CO	商品名	数量	金額
2	1001	ナカジマ	101	商品A	20	10,000		数量		1003	L ナカジマ	102	商品B	40	40,000
3	1001	ナカジマ	102	商品B	40	40,000		<=10		1003	L ナカジマ	103	商品C	30	45,000
4	1001	ナカジマ	103	商品C	30	45,000			>=40000	1002	ATKA	103	商品C	10	15,000
5	1002	ATKA	101	商品A	20	10,000				1003	8 精華商店	102	商品B	10	10,000
6	1002	ATKA	102	商品B	30	30,000									
7	1002	ATKA	103	商品C	10	15,000									
8	1003	精華商店	101	商品A	30	15,000									
9	1003	精華商店	102	商品B	10	10,000									
10	1003	精華商店	103	商品C	20	30,000									
4.4															

関数

データベースの列から条件を満たす値を求める: DGET関数

DGET 関数は指定した列のセルから条件に一致する値を1つ求めます。

<DGET 関数>



例)数量が最大の得意先名を求める場合



文字列をセル参照する: INDIRECT関数

INDIRECT 関数は、文字列をセル番地、シート名などとして扱うことができる関数です。 これを利用し、参照するシートを選択せずセルの値を使用して行うことができます。

<<u>INDIRECT 関数></u>

=INDIRECT(参照文字列,参照形式)

組み合わせて、表の見出しの値をシート名として用いて集計します。

例)商COごとに前期・後期のシートから数量を集計する場合



=DSUM(INDIRECT(シート名&"!セル範囲"), フィールド, 条件)

参照するシート名をB2セルの値で設定する場合

=DSUM (INDIRECT (**B\$2**&"!\$A\$1:\$C\$10"), 3, \$A\$7:\$A\$8)





表検索:MATCH・INDEX

MATCH 関数を使用し、範囲の中で特定の値を検索して検索範囲内での相対的な位置を返します。INDEX 関数でその値を使用し、行番号と列番号が交差する位置にあるセルの内容を求めます。



例)契約数と区分の値から乗率を求める場合



E2セルで設定すると

=INDEX (<u>テーブル!\$B\$4:\$D\$6</u>, MATCH (<u>C2</u>, <u>テ</u>ーブル!\$A\$4:\$A\$6, <u>1</u>), MATCH (<u>D2</u>, <u>テ</u>ーブル!\$B\$3:\$D\$3, <mark>0</mark>))

MATCH 関数で得た行番号と列番号で交差するセルを表検索します。契約数(1行目)、区分(1列目)を<乗 率表>から検索します。

	А	B C D			E
1	<乗率表	2>			
2	志刀多行米行		区分		
3	天不过安风	А	В	С	
4	1	1%	4%	7%	
5	15	2%	5%	8%	
6	20	3%	6%	9%	
-	()>	;	テーブル		データ表

余りを求める: MOD関数

指定された数値で割ったときの余りを求めます。 <MOD 関数>

=**MOD (<u>数値</u>, <u>除数</u>)** ※[数値]は割る対象、[除数]は割る数。

例) COが「11」(C3 セル)の1の位を求める場合

= **MOD** (<u>C3</u>, <u>10</u>)

※「11」を10で割った余り=1

日付から月を求める: MONTH関数

日付に含まれる月の値を求めます。 <MONTH 関数>

=MONTH(<u>シリアル値</u>)

※[シリアル値]には日付を指定します。

例) 売上日「4/1」(A2 セル) の場合

= MONTH (<u>A2</u>)

※売上日 4/1 の月=4

条件に合った値を合計する: SUM IF 関数

指定した検索条件に一致するセルの値を合計します。 <SUMIF 関数>

=SUMIF(<u>範囲</u>, 検索条件, 合計範囲) ※[範囲]には検索条件で検索する範囲を指定します。 ※[検索条件]には条件となる数値や式、文字列を指定します。 ※[合計範囲]には実際に合計する範囲を指定します。

例)商COごとに数量の合計を求める場合

=SUMIF(<u>データ表!\$B\$2:\$B\$10</u>, <u>A3</u>, <u>データ表!\$C\$2:\$C\$10</u>)

1	۵	B	C		B3		-	× ✓ f _* =SUMIF(データ表!\$B\$2:\$B\$10,A3,7	
1 2 3 4 5	得意先CO 1001 1001 1001 1001	商CO 101 102 103 101	数量 10 30 20 60		A 2 商CO 3 100 - 100 5 100	B 数量 \$C\$10) 2	С	関数の引数 SUMIF 範囲 データ表(\$B\$2:\$B\$10 全 = {10 検索条件 A3 全 = 101	? ×
6	1002	102	10		6			合計範囲 データ表!\$C\$2:\$C\$10	;30;20;60;10;30;50;20;40}
7 8 9 10	1002 1003 1003 1003	103 101 102 103	30 50 20 40		7 8 9			= 120 皆定した検索条件に一致するセルの種を合計します 検索条件 には計算の対象となるセルを定義するが します	条件を数値、式、または文字列で指定
		データ表	集計書	100 C	11 12	データ表	集計表	数式の結果 = 120 の関数のヘルプ(H)	ОК ‡ р>tл



B2	2 *		✓ f _x	=MON	TH(A2)						
	A	В	С	D	E	F	G	н	1		J
1	売上日	売上月		. 71.05						2	
2	4/1	TH(A2)	開設の	の51数						1	×
3	4/15		MON	NTH							
4	5/3			シリアル値	A2		1 -	44287			
5	5/20						-	4			
6	6/6		月を1	1(1月)~1	2 (12 月) の筆	通の整数で返	します。				
7					シリ	アル値 には Mi	crosoft Exce	で使用される	日付/時刻コー	ドを指定	します。
8											
9			数式の	D結果 = 4							
10			この開	数のヘルプ(日)				OK	+72	セル
11								_			

範囲に対応する値をかけ算して合計する:SUMPRODUCT関数

指定した列(配列)のそれぞれの行でかけ算をした値を合計します。 <SUMPRODUCT 関数>

=SUMPRODUCT (配列 1, 配列 2, ···)

※[配列]にはかけ算をする列の範囲をそれぞれ指定します。

例)数量と売価のそれぞれの行でかけ算をした値の合計を求める場合

=SUMPRODUCT (<u>C2:C10</u>, <u>E2:E10</u>)



■ SUMPRODUCT 関数の応用

指定した条件に該当する行ごとにかけ算した合計を求めることができます。

例)商COごとの金額の合計を求める場合



この場合、配列1の中に条件を設定します。

=SUMPRODUCT (<mark>(データ表!\$B\$2:\$B\$10=A3)*1</mark>, データ表!\$E\$2:\$E\$10, データ表!\$C\$2:\$C\$10)

例) 商CO「101」の場合



「(データ表!\$B\$2:\$B\$10=A3)*1」の式は、データ表シートのB2 セルからB10 セルの中で集計表シートのA3 セル「101」と同じ値がある場合、「TRUE」、それ以外のものは「FALSE」を返します。

これに1をかけることで、「TRUE」は1、「FALSE」はOに変換され、商COが「101」のものだけがかけ算の対象となります。

※条件の式(データ表!\$B\$2:\$B\$10=A3)は、必ずかっこで囲みます。

操作のポイント
その他の算術演算子を使用(足し算・引き算・割り算)
SUMPRODUCT 関数は、配列1、2などの間のコンマを算術演算子(*、/、+、-)に置き換えると配列
同士の計算を行うことができます。
何」)
支払額=仕入額-値引額 ※基表の同項目の値を計算後、集計する。
=SUMPRODUCT((データ表!\$A\$2:\$A\$25=A3)*1,データ表!\$C\$2:\$C\$25-データ表!\$D\$2:\$D\$25)
条件 仕入額 值引額
ー (マイナス)

並べ替え処理に関する注意点

シートをまたいだ式や関数の設定をする際に、数式の項目に設定を行っているシート名(自シート名)が入っている場合、正しく並べ替えがされないので、並べ替えがある処理は気をつけてください。

151	
ויציו	
	-

- 1)金額=単価×数量
- 2) 数量の降順に並べ替える。

1	A	B	C	D	E
1	<単価表>				
2	商CO	商品名	単価		
3	101	商品A	100		
4	102	商品B	500		
5	103	商品C	1,000		
c .					

数量にシート名が付いた式

D	2 *	i x	$\checkmark f_x$	=VLOOP	KUP(B2,テ	ーブル!\$A	\$3:\$C\$5,3,	0) データ表	ElC2
	A	В	С	D	E	F	G	н	1
1	得CO	商CO	数量	金額					
2	1001	101	10	1,000					
3	1001	102	20	10,000					
4	1001	103	40	40,000					
5	1002	101	30	3,000					
6	1002	102	50	25,000					
7	1002	103	5	5,000					
	< >	テーブル	データ表	データ表 (シ	-ト名なし)		1		

数量にシート名が付いていない式

D	2 *	· : 🗙	$\sqrt{-f_x}$	=VLOO	KUP(B2,テ	ーブル!\$A	\$3:\$C\$5,3,	0) C2
	A	В	С	D	E	F	G	н
1	得CO	商CO	数量	金額				
2	1001	101	10	1,000				
3	1001	102	20	10,000				
4	1001	103	40	40,000				
5	1002	101	30	3,000				
6	1002	102	50	25,000				
7	1002	103	5	5,000				
	4 F	テーブル	データ表	データ表 (シ	-ト名なし)	\oplus		

数量の降順に並べ替え

正しく並べ替えされない 数量を参照しているセルがずれている

SU	JM -	: ×	$\checkmark f_x$	=VLOOK	UP(B2,テー	-ブル!\$A\$3:\$	\$C\$5,3,0)* 7	ータ表!C6
	A	В	С	D	E	F	G	н
1	得CO	商CO	数量	金額				
2	1002	102	50	=VLOOKU	P(B2,テー	ブル!\$A\$3	:\$C\$5,3,0)*	*データ表!C6
3	1001	103	40	30,000				
4	1002	101	30	2,000				
5	1001	102	20	20,000				
6	1001	101	10	5,000				
7	1002	103	5	5,000				

正しく並べ替えされる

SUM - : × イ 糸 =VLOOKUP(B2,テーブルはA\$3.\$C\$5,3,0)+C2							2	
	А	В	С	D	Е	F	G	
1	得CO	商CO	数量	金額				
2	1002	102	50	=VLOOKU	P(B2,テー	ブル!\$A\$3	\$C\$5,3,0)*	C2
3	1001	103	40	40,000				
4	1002	101	30	3,000				
5	1001	102	20	10,000				
6	1001	101	10	1,000				
7	1002	103	5	5,000				

※並べ替えの指示のある表は該当項目に処理をする自シート名がないことを必ず確認してください。

解答の上書き保存

答案はデータでの提出になりますので、必ず上書き保存をしてください。

Microsoft, Access, Excel, PowerPoint, Windows, Wordは、マイクロソフト グループの企業の商標です。 その他、本書に登場する製品名は、一般に各開発メーカーの商標および登録商標です。 本文中には、[™]、®マークは明記しておりません。